

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 170-8401

住 所 東京都豊島区東池袋五丁目51番12号

氏 名 株式会社マルエツフレッシュフーズ

代表取締役社長 細川 忍

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツフレッシュフーズ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島6-10 かわさきファズ物流センターA棟4F		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	生鮮加工センターにおける食料品の仕入れ、製造、加工及び販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,790	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2023 年度 ~ 2025 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 3,340	(実) 3,115	(実) 3,073	(実)	(実) 3,266
	(調) 3,334	(調) 2,696	(調) 3,073	(調)	(調)
削減率		(実) 6.7%	(実) 8.0%	(実) %	(実) 2.2%
		(調) 19.1%	(調) 7.8%	(調) %	(調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

	生産パック数				原単位等の単位	t-CO2/百万パック
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度		
	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	77.85	66.27	64.69			75.09
活動量の値	43	47	48			-
排出量原単位等の削減率		14.9%	16.9%	%	%	3.5%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	製造パック数が大きく伸長。結果、電気使用量が多くなったが、乾燥機等の設備機器更新による省エネ化を進め、石油ガス、産業用以外の蒸気の使用量が大きく減少したためCO2排出量が減少した。生産性が大きく改善したことにより、原単位についても大きく改善した。
第2年度	前年に比べて夏場の気温上昇や日照時間が増したことにより、冷蔵・冷凍機器の動力が増大し、電気使用量が前年比103.8%となった。特に3月~10月にかけては前年比105.5%と大きく増加し、エネルギー使用量自体は増加したものの、製造パック数前年比101%、排出係数は前年より下がったため、排出量及び原単位はともに前年より改善し、目標値を大きくクリアしている。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○外部機関の利用等 ISO22000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施していきます。</p> <p>○冷凍機の効率管理 フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施します。 例えば以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで効率的な運用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷媒ガス漏れの有無 ・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無 ・室外機異常の有無(異常振動、異常運動音、油にじみの有無) ・室外機周辺の障害物の有無 <p>○空調(事務所内)については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をしていきます。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○外部機関の利用等 ISO22000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施していきます。</p> <p>○冷凍機の効率管理 フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施します。 例えば以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで効率的な運用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷媒ガス漏れの有無 ・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無 ・室外機異常の有無(異常振動、異常運動音、油にじみの有無) ・室外機周辺の障害物の有無 <p>○空調(事務所内)については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をしていきます。</p> <p>○洗淨ライン洗濯機(2台)・乾燥機(2台)更新による省エネ化実施(23年12月)(追加実施)</p>
<p>第2年度</p>	<p>○前年度実施項目の継続</p> <p>○節電対策の強化(追加実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工室の昼夜インターバル間の温度設定変更(+4℃)実施 ・空調機フィルターの定期的な清掃、休憩室等の温度設定の遵守(夏期:26度、冬期19度)
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
	現状は、再生可能エネルギー源等を利用する計画はありません。	

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○通い箱(クレート)での配送 ○食品トレイの軽薄化 ○従業員への教育(環境教育動画の視聴)
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○通い箱(クレート)での配送を実施 ○従業員への教育(環境教育動画の視聴)
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○通い箱(クレート)での配送を実施 ○従業員への教育(環境教育動画の視聴)
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	3,340 t-CO ₂	3,115 t-CO ₂	3,073 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	1,808 KL	1,721 KL	1,790 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

(2) 事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
マルエツフレッシュワーズ川崎事業所	川崎市川崎区東扇島6-10	3,340	3,115	3,073	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度